

**総務省/電波環境協議会主催 電波環境協議会シンポジウム
～医療機関における適正な電波利用環境の構築を目指して～
を開催**

平成 28 年 12 月 16 日 (金)、電波産業会が事務局を務める 電波環境協議会 (略称: EMCC) 及び総務省の主催する「電波環境協議会シンポジウム～医療機関における適正な電波利用環境の構築を目指して～」を明治記念館において開催しました。なお、このシンポジウムには、電波産業会の他、厚生労働省、(公社) 全国自治体病院協議会、(公社) 日本医師会、四病院団体協議会、(一社) 電子情報技術産業会からのご後援をいただいています。

シンポジウムでは、高市総務大臣をはじめとする約 300 名の方々にご参加いただき、「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」を踏まえた熱心な意見交換がなされました。この手引きは、昨年 9 月に EMCC に設置された「医療機関における電波利用推進部会」(座長: 加納隆埼玉医科大学教授) での検討結果をとりまとめ、平成 28 年 4 月 4 日、EMCC が策定・公表したものです。また、その功績が高く評価され、平成 28 年 6 月 1 日、電波の日中央式典において、同部会が総務大臣より表彰されました。シンポジウムは、手引きの普及促進と EMCC の 30 周年を記念し、開催したものです。



電波環境協議会シンポジウムの様子

シンポジウムでは、総務省 総合通信基盤局 電波部長 渡辺 克也様より、開会のご挨拶をいただきました。その後、EMCC 会長 上 芳夫様より、EMCC の歴史や最近の活動成果の紹介がありました。特別講演としては、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長 山本 雅之様から、「東北メディカル・メガバンク 目標と進捗について」と題したご講演をいただきました。更に、パネル・ディスカッションでは、「医療機関における適正な電波利用環境の構築を目指して」と題し、埼玉医科大学 教授 加納 隆様にコーディネータを務めていただき、手引き作成に関わられた(一社) 日本病院会 副会長 大道 道大様、大成建設(株) 課長 遠藤 哲夫様、(株) NTT ドコモ 主任研究員 大西 輝夫様、フクダ電子(株) テクニカルフェロー 村木 能也様、福井大学 准教授 山下 芳範様にパネリストとしてそれぞれご講演をいただきました。閉会の挨拶では、総務大臣 高市 早苗様より、この取り組みへの感謝の言葉をいただくとともに、活動を継続し課題解決に向け検討を深めていくことに対する期待が示されました。



総務省総合通信基盤局
電波部長

渡辺 克也様



EMCC
会長

上 芳夫様



東北大学
東北メディカル・メガバンク機構
機構長

山本 雅之様



埼玉医科大学
教授

加納 隆様

福井大学
准教授

山下 芳範様

フクダ電子(株)
テクニカルフェロー

村木 能也様



大成建設(株)
課長

遠藤 哲夫様

(株)NTTドコモ
主任研究員

大西 輝夫様

(一社)日本病院会
副会長

大道 道大様

パネル・ディスカッションの様子



閉会の挨拶をされる高市総務大臣